

令和3年11月14日(日)

令和3年度 第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会（電子回路組立部門） ～ 4年ぶり3度目の日本一～

第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会（全国工業校長協会主催）に出場し、4年ぶり3度目の優勝を収めました。出場した職種は「電子回路組立部門」で、選手は本校電子機械科3年の稲田颯汰さんです。

高校生ものづくりコンテストとは、旋盤・自動車整備・電気工事・電子回路組立・化学分析・測量・溶接と7つの部門から行われ、日本の若年者の技量を向上させるため技能五輪全国大会を見据えた高校生のためのものづくり大会であります。過去にはこの大会を通じてものづくりに興味が沸き、就職・進学先で技能五輪選手になった選手はたくさんいます。

電子回路組立部門とは電子回路の設計・製作を行い、半田付けによる部品の取付け接続・接着等により、電子回路を内蔵した各種機器の総合的な組立てを行い、併せてプログラミング作業により仕様書通りの作品を制作する部門です。

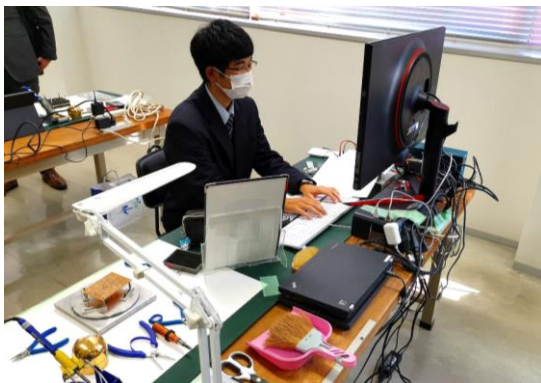
全国大会では各ブロックを勝ち抜いた9名と開催県1名、合計10名が全国大会に出場しました。

最初に自作による製図を行い、それに従い半田付けによる回路製作を行いました。本校稲田さんは早々とそれらを終了させ、プログラムに入りました。プログラムでは8問中7問クリアし全体で1番良い成績でした。

本校メカトロ部は過去、第11回大会（平成23年度）から今回まで10回連続出場しております。第1回で初優勝をして以来、第17回にも優勝をしており、今回で3度目です。稲田さんは、就職先で技能五輪全国大会に出場するための選手になることを目指しており、将来は大手企業で開発関係の仕事に就くことを目標としています。今後の稲田さんの活躍にも注目です。



全国大会の様子（稲田さん）



全国大会の様子（事前チェック）



全国大会の様子（作業風景）



閉会式の様子



表彰の生徒たち